



JASDAQ

平成 26 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 シ ー マ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 白 石 幸 生
(J A S D A Q ・ コ ー ド 7 6 3 8)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 松 橋 英 一
電 話 0 3 - 3 5 6 7 - 8 0 9 8

平成 27 年 3 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 業 績 予 想 と 実 績 と の 差 異 に 関 す る お 知 ら せ

平成 26 年 9 月 29 日に公表いたしました平成 27 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 の 業 績 予 想 値 と 本 日 公 表 の 実 績 値 に 差 異 が 生 じ ま し た の で、下 記 の と お り お 知 ら せ い た し ま す。

記

1. 平成 27 年 3 月 期 第 2 四 半 期 (累 計) 連 結 業 績 予 想 と 実 績 と の 差 異 (平 成 26 年 4 月 1 日 ~ 平 成 26 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,465	百万円 △306	百万円 △309	百万円 △195	円 銭 △0.97
実績値 (B)	3,462	△197	△238	△153	△0.77
増減額 (B-A)	△3	109	71	42	—
増減率 (%)	△0.1	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	3,760	△435	△442	△517	△2.82

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

2. 差異が生じた理由

売上高の実績につきましては、前回発表予想とほぼ同額でしたが、利益面において営業利益、経常利益、四半期純利益ともに改善され赤字幅が縮小しております。

ブライダル事業につきましては、平成 26 年 9 月 29 日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」でも言及しましたように、当第 2 四半期連結累計期間の前半において消費税増税前の駆け込み需要の反動による受注の減少があり、売上については厳しい状況で推移いたしました。その反面、エステ事業につきましては、グループ会社の株式会社ニューアート・ラ・パルレの集客が順調に推移したため、売上が増加し、結果として利益が当初の見込み以上になり、赤字幅を縮小することが出来ました。

なお、平成 27 年 3 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 に つ き ま し て は、ブライダルジュエリーの販売が秋から年末において活発になり、売上向上が見込めることに加え、家賃の削減効果による経費削減で利益の改善が期待されると同時にエステ事業も好調に推移しております。しかしながら、現時点において当社グループ全体

としては、不確定な要素も多いため、平成 26 年 9 月 29 日に公表いたしました内容についての変更はいたしません。今後、変更の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

(業績予想に関する留意事項)

本資料における業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

なお、今回発表資料における 1 株当たり四半期純利益の数値についてはライツ・オフリングによる発行済株式総数の増加による希薄化の影響は考慮しておりません。

以上